

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和6年1月25日（木）15：55～16：40
3. 場所：原子力規制庁7階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ

技術基盤課

佐々木企画調整官、酒井原子力規制専門職、皆川原子力規制専門職、戸田係員

原子力規制部

原子力規制企画課

藤森企画調査官

原子力エネルギー協議会 事務局長 他4名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力発電部門 保守管理グループ
チーフマネジャー 他5名

三菱電機株式会社 電力システム製作所 原子力部 放射線計装設計課
課長 他3名

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力電気システム設計部
電気システム設計第一グループ エキスパート 他2名

日立GEニュークリアエネジー株式会社 原子力設計部
原子力第一設計グループ 技師

5. 要旨：

<電気ペネトレーションの電線・ケーブルのはんだ付け接合部に関する調査>

- 令和5年11月9日のATENAとの面談にて、国内BWRプラントに係るメーカーにおいて、電気ペネトレーションの電線・ケーブルの接合方法としてはんだ付けと圧着があるが、その使い分けの考え方について情報共有を依頼した。
- ATENAから資料1に基づいて、製造メーカーごとの型式・導体接続方法の違いについて説明を受けた。その後資料2に基づいて、電気ペネトレーションのはんだ部の知見拡充に向けた計画案について説明を受けた。
- 原子力規制庁から、ATENAに対して具体的実施内容について追記するよう依頼し、ATENAから対応する旨の発言があった。

6. 配布資料：

資料1 電気ペネトレーションの「接合方法の使い分け」について

資料2 電気ペネトレーションはんだ部の知見拡充に向けた計画案